

4. その他(広報啓発)

(1) ホームページ

◆附属産学・地域連携センターTOP <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

◆研究費獲得関係情報

- ①科学研究費補助金 <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kakenhi.html>
- ②国費等公募 <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi.html>
- ③民間財団助成金 <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan.html>

NO	募集日	応募資格	学内提出期限	募集要項	助成内容	備考
MM	4/7	独立行政法人 日本学術振興会	平成21年度知財分特別研究員 (DC1-DC2-PP-SPD)	【申請手続】 この公募は電子申請システムにて行われます。 応募ご登録に際しパスワードの取得が必要となります。パスワード取得は http://www.sapmed.ac.jp/ircc/ircc/apply/ にて行います。また、日本学術振興会電子申請システム(http://www.jst.go.jp/ircc/ircc/apply/)にて申請書を作成してください。	専任研究員(特別研究員)年額180万円以内 研究助成金(特別研究員助成金)年額180万円以内	
MM	4/7	独立行政法人 日本学術振興会	平成21年度知財分特別研究員 (RFD)	【申請手続】 この公募は電子申請システムにて行われます。 応募ご登録に際しパスワードの取得が必要となります。パスワード取得は http://www.sapmed.ac.jp/ircc/ircc/apply/ にて行います。また、日本学術振興会電子申請システム(http://www.jst.go.jp/ircc/ircc/apply/)にて申請書を作成してください。	専任研究員(特別研究員)年額150万円以内	
		独立行政法人 日本学術振興会	平成21年度知財分特別研究員 (RFD)	【申請手続】 この公募は電子申請システムにて行われます。 応募ご登録に際しパスワードの取得が必要となります。パスワード取得は http://www.sapmed.ac.jp/ircc/ircc/apply/ にて行います。また、日本学術振興会電子申請システム(http://www.jst.go.jp/ircc/ircc/apply/)にて申請書を作成してください。	専任研究員(海外派遣)年額1110万円以内 研究助成金(海外派遣助成金)年額1110万円以内	

NO	募集日	団体名	対象研究種目	助成金額・種類	応募資格
MM	5/13	財団法人 私人血液研究 文庫財団	平成20年度(第10回) 血液研究奨励金 血液研究奨励金(血液研究奨励金) 血液研究奨励金(血液研究奨励金)	①助成額200万円 ②助成額10万円	①H20.3.31現在で45歳未満の研究者
		財団法人 私人血液研究 文庫財団	学長と学長 推薦を要する研究種目 についてのみ	2009/5/30	
		財団法人 真直学術財団	平成20年度 研究助成 金(学術奨励金) 学術奨励金(学術奨励金) 学術奨励金(学術奨励金) 学術奨励金(学術奨励金) 学術奨励金(学術奨励金)	100万円(最大100 万円)	教授及び部長職に相当する方に応募はできません
		財団法人 真直学術財団	【申請手続】 学長と学長推薦の承認を 必要とします。 推薦内推薦員は公募者の指導 に責任を負います。推薦内推薦員 は公募者として応募していただき ます。 学長の推薦を必要とする場合 は、推薦書も添付していただき ます。	2008/6/16	http://www.makanaika.ac.jp/
		財団法人 母子健康協会	平成20年度小児医学研究助成 金	最高150万円まで	小児医学分野の研究に専事する50歳未満の研究者 学長と学長

◆知的財産管理室 <http://web.sapmed.ac.jp/chizai/>

札幌医科大学
知的財産管理室
Sapporo Medical University Intellectual Property Management Office.

HOME Home
知的財産管理室の紹介 Reporte
知財ポリシー・規定集 (学内限定) Policy
知的財産FAQ FAQ
検索 (研究シーズ、特許情報、書籍) Search
刊行物 Publishing
リンク Link

医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育

検索 Search
研究シーズ検索
特許情報検索
書籍検索

刊行物 Publishing
● 刊行物
● 実験ノート(研究ノート)

札幌医科大学 医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育
札幌医科大学 附属産学・地域連携センター
札幌医科大学 Sapporo Medical University

新着情報 What's New!
NEWS 2008/02/18 ●「札幌医科大学教職員に係る勤務発明等に係る収入配分要領」制定に関する意見募集について(学内専用) [詳細]
NEWS 2008/02/18 ●平成19年度知財GPsシンポジウム開催のご案内(開催日:3月6日) [詳細]
NEWS 2008/02/18 ●知的財産教育講義(応用コース)開催のご案内(開催日:2月25日) [詳細]
2008/02/08 ●JSTシーズ発掘試験の応募説明会の開催について(2月13日) [詳細]
2008/01/04 ●連携し研究支援に係る把握について(様式) [詳細]
2008/01/04 ●知的財産教育講義(応用コース)開催のご案内(2月8日) [詳細]
2008/01/04 ●知的財産教育講義(応用コース)開催のご案内(2月8日) [詳細]

◆医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育 <http://web.sapmed.ac.jp/chizai/indexgp.html>

札幌医科大学
医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育

札幌医科大学 附属産学・地域連携センター

トップページ
知的財産教育全体解説
知的財産教育内容
Q & A
知的財産遠隔教育を受講する方へ
推進組織及び事務局組織について
お問合せ先
札幌医科大学 附属産学・地域連携センター

札幌医科大学現代GP

札幌医科大学では、文部科学省から平成17年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に選定され、知財リテラシーを活用できる医療系研究者育成を目的とした知財教育を始めています。



SEEDS

Sapporo Medical University
The Collection of Research Seeds.

Category

医学部 基礎医学系
附属がん研究所
教育研究機器センター
動物実験施設
附属臨海医学研究所

医学部 臨床医学系
附属病院

保健医療学部

札幌医科大学
地域貢献への取り組み

札幌医科大学 研究シーズ集

札幌医科大学知的財産管理室

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL (011) 611-2111 (内線2108)
FAX (011) 611-2237

Category **I**

医学部 基礎医学系、附属がん研究所、教育研究機器センター、動物実験施設、附属臨海医学研究所

Virtual Global Network(VGN)の実用化に向けた研究開発		
講座	札幌医科大学大学院 医学研究科生体情報形態学 研究者 教授 辰巳治之	
<p>IPv6 Topological Addressing Policyに従ったEnd to End MultiHomeによるVirtual Global Networkを実用化し、医療ネットワークや地域ネットワークにおける諸問題を解決しお困る。この開発によりIPv6の利用促進や次世代ネットワークの高度応用の基礎形成が期待され、災害時などにも役立つ可能性がある。さらに、IPv6 Global Addressの優位性が立証されれば、IPv6によるネットワークが加速され安全・安心・便利・安価な高度情報化社会が推進され、我々が提案している「戦略的防衛医療構想」実現への発展が期待される。</p>		
心臓は如何に動くのか? ~個体発生に伴う心臓・心筋細胞の発達に関して~		
講座	生理学第一講座 研究者 當瀬規嗣、深尾充宏、筒浦理正、小林武志	
<p>心臓は脳と独立して動く能力(自動脈)を有している臓器である。腎臓の拍動は発生の早い段階で確認されるが、拍動開始後も心臓・心筋細胞は形態的・機能的に変化していく。この変化を観察し、変化のメカニズムを検討することによって「なぜ心臓は他の臓器と異なり動くことが可能なか」を解明し、最終的に新しい人工心臓(再生心臓)を作成することを目指している。</p>		
中枢神経系の機能解明に関する研究 ~運動発現に係る神経回路の同定から記憶形成のシナプスメカニズム解析まで~		
講座	生理学第二講座 研究者 松山清治(准教授)、藤戸 裕(准教授)、石黒雅歌(助教)	
<p>ヒトの中枢神経系は約1千億個ものニューロンから構成されており、運動、感覚、記憶・学習、思考・認知など様々な機能を営んでいます。このような多様な機能を発現させるために、中枢神経系内にもそれぞれの機能に対応する神経回路が組み込まれています。中枢神経系の機能を明らかにするためには、それぞれの機能に対応した神経回路を同定し、その働きを明らかにすることが基本となります。</p> <p>当講座では、中枢神経系の機能の中でも、1)歩行運動の発現・制御機能(松山)、2)脳の適応・代償機能の基礎過程(藤戸)、3)海馬ニューロンのシナプス機構(石黒)の解明を目指して研究を進めています。</p>		
パターン認識分子(Toll様受容体と生体防御レクチン)による自然免疫の分子機構		
講座	札幌医科大学医学部生化学第一講座 研究者 教授 黒木由夫	
<p>自然免疫は病原微生物に存在する特有の分子/パターンを識別することによって自己と非自己を区別してそれを排除し、生体を守る最も基本的な生体防御機構である。Toll様受容体(TLR)と生体防御レクチン(肺コレクチン)がパターン認識分子としてFirst Line Defenseを担っている。組換え可溶性TLR細胞外ドメイン蛋白がエンドキニン/炎症反応の抑制に応用可能なこと、また、肺コレクチンが抗炎症機能を有することもマクロファジー貪食受容体の発現を増加させて細菌貪食を促進することを示した。</p>		

(2) 附属産学・地域連携センター刊行物

・平成 18 年度活動報告書 (2007.06 発行)

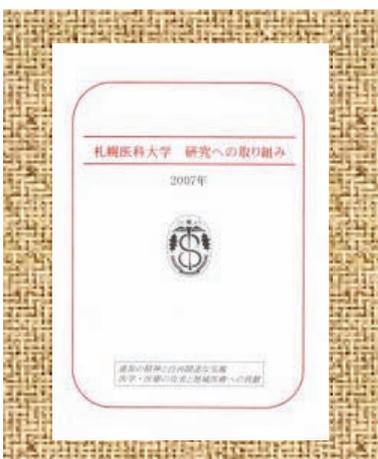


産学・地域連携センターの発足を機に作成された初めての活動報告書。

活動目標をはじめ、組織図、活動記録、メールマガジンのバックナンバーなど、センターの1年間のあゆみを1冊に収録。

学内・学外の繁がりと縁を大切に、センターの業務内容がさらにわかりやすく「見える」ものをめざし、以後年1回発行予定。

・研究シーズ集 (2007.06 発行)



本学で行われている40件以上にのぼる研究内容を掲載した研究シーズ集。内容は、医学部基礎医学系、医学部臨床医学系、保健医療学部の3つのカテゴリに分けられ、それぞれフルカラーで見やすく紹介。後半部分には本学の地域貢献への取組も掲載。ページは1研究につき1ページのリーフレット型で、最新情報の随時更新が可能。附属産学・地域連携センターのホームページからもアクセス可能。

URL : <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/seeds/indexseeds.html>

各種交流会の際の参考資料として配付し、他大学、他研究機関、および企業との連携を目指す。

・知的財産教育講義ガイダンス (2008.03 発行)



平成17年度選定 文部科学省 現代的な教育ニーズ取組支援プログラム「医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育」事業の一環として発刊。平成18年度から19年度に開催した知的財産教育講義をまとめた内容となっている。

知財教育 e-learning に資するため、過去の講義の演者をお願いして、講義のテーマの内容に関連した問題意識を喚起するようなイントロダクション的な紹介文と設問を執筆していただきました。

平成20年度から開始の修士課程の講義等での利用、大学院生や医療従事者を対象とした知財教育の e-learning の補助教材としても利用されている。

(3) メールマガジン(平成 19 年度発行)

△▼札幌医科大学 附属産学・地域連携センターメールマガジン△▼

■第6号■ 2007年4月6日発行

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メールマガジン第6号をお届けします。今号では新規公募情報やセンターからのお知らせを掲載しております。

▲目次▼

1. 新規公募情報 (学振関係3件)
2. 知財ミニコラム (去年度の特許出願状況について)
3. センター移転のお知らせ

◆本メールマガジンは「学長室だより」の受信アドレス、ご登録頂いたアドレス、ならびにSMUバイオリソースシステムの協力を得て、機器予約センター登録アドレスに配信しております◆

1. 日本学術振興会特別研究員の公募について

(独) 日本学術振興会平成20年度特別研究員募集のお知らせ

- ・平成20年度 海外特別研究員 (締め切り 4月23日)
若手研究者の海外派遣に対する助成
<http://www.jsps.go.jp/j-ab/index.html>
- ・平成20年度 特別研究員 (RPD) (締め切り4月23日)
出産・育児による研究中断者への復帰支援フェローシップ
http://www.jsps.go.jp/j-pd/rpd_gaiyo.html
- ・平成20年度 特別研究員 (DC1, DC2, PD, SPD) (締め切り5月25日)
若手研究者のフェローシップ
<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>

2. 知財ミニコラム

△▼平成18年度特許出願件数について

平成18年度のセンター管理による医大からの特許出願件数は18件となりました。前年度の実績からは2件増という結果になりました。特許出願を審査してもらうためには出願後3年以内に特許庁に審査請求を改めて行う必要があります。医大においても本年から出願した案件に関する審査請求の検討を行うこととなりますが、関係の先生方のご協力をよろしく願致します。

3. センター移転のお知らせ

4月6日をもって附属産学・地域連携センターが本部棟4階から1階へ移転しました。新しい場所は本部棟1階旧大学改革推進室(本部棟1階エレベーター左奥)で、経営企画課(旧企画課)と同居します。これまでもセンターの活動には旧企画課から種々バックアップを受けておりましたが、今後は経営企画課とさらに連携を強めつつ各種活動を推進します。特許相談、企業との共同研究の相談等なにかありましたら、気軽にお越しください。

☆編集後記

先月、サンフランシスコで行われました大学技術移転マネージャー協会(AUTM)の大会に出席してきました。北米を中心に、ヨーロッパ、アジア、日本から総勢2000人もの参加者が集まって、大学の技術移転の課題について議論を行いました。会場ではアメリカの大学の知財や産学連携の担当者と個別に知財教育や産学連携に関する意見交換を行って、海外とのネットワーク構築のきっかけがつかむことができました。

4月1日に医大は法人化しましたが、今年度からは最高レベルを目指す医科大にふさわしい産学・地域連携活動とは何か自問しながら各種活動を進めたいと思います。(IN)

△▼札幌医科大学 附属産学・地域連携センターメールマガジン△▼

■第7号■ 2007年6月8日発行

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メールマガジン第7号をお届けします。今号ではセンターの活動報告を中心に新規公募情報などをお知らせを掲載しております。

▲目次▼

1. センター活動報告
2. 知財ミニコラム
3. シオノギ創薬イノベーションコンペのお知らせ
4. 公募情報のお知らせ

◆本メールマガジンは「学長室だより」の受信アドレス、ご登録頂いたアドレス、ならびにSMUバイオリソースシステムの協力を得て、機器予約センター登録アドレスに配信しております◆

1. センター活動報告

△▼研究シーズ集、地域貢献取り組み集作成について

センターでとりまとめを進めておりました研究シーズ集、地域貢献取り組み集は「札幌医科大学 研究への取り組み」ならびに「札幌医科大学 地域貢献への取り組み」というタイトルで発行することになりました。各研究室、部門のご協力を得て、併せて70件のシーズの提供を頂きました。ご協力ありがとうございました。引き続き、内容のアップデート等のご協力よろしくお願い致します既に、他大学や関係機関に配布をはじめておりますが、今後印刷やホームページへのアップなど、医大の活動をさらにアピールするツールとして活用します。

2. 知財ミニコラム

△▼北大知財本部との共同セミナーを開催しました

先に本メルマガ増刊号でもお知らせしたように、5月17日(木)に本学において知財教育コース特別セミナー「知的財産国際化人材育成セミナー」を開催しました。これは本センターと北大知財本部との初の共同企画で、当日は25名ほど参加者が集まりました。シリコンバレーの産学官連携の実情についての報告や、北大、医大それぞれの知的財産に関する取り組みについての報告がありました。総合討論では活発に議論が行われ、北大・医大の交流が深まりました。また機会があれば両者共同の企画を行いたいと考えています。

3. シオノギ創薬シーズコンペのお知らせ

塩野義製薬株式会社は「2007年シオノギ創薬イノベーション」を実施しています。一件あたり200～500万円で、10件程度の採択を予定しています。

詳しくは

<http://www.shionogi.co.jp/finds/> を参照下さい。

4. 公募情報のお知らせ

センターでは外部研究費公募のお知らせページを適宜更新し、最新の情報提供に努めております。

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kakenhi.html> (科研費関係)

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi.html> (国費関係)

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan.html> (民間助成関係)

以上、何れも学内限定となっております。

☆編集後記

今月は東京ビッグサイトで開催されます、国際バイオEXPOを見に行く予定にしております。国内外の企業や大学・研究機関が一同に会する機会ですので、なるべく多くの関係者と意見交換を行ってきたいと思っております。

先日、新しい生命の誕生に立ち会うことができました。あの素晴らしい時間を共有できたことに感謝しています。(IN)

附属産学・地域連携センターメールマガジン

編集 産学官連携コーディネーター 一瀬信敏

発行 札幌医科大学附属産学・地域連携センター

URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メール renkei@sapmed.ac.jp

ichise@sapmed.ac.jp (一瀬)

△▼札幌医科大学 附属産学・地域連携センターメールマガジン△▼

■第8号■ 2007年10月30日発行

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メールマガジン第8号をお届けします。今号では知財講義のお知らせ等、センターからの各種お知らせを掲載しております。

▲目次▼

1. 知的財産教育応用コース講義のお知らせ
2. TV放映のお知らせ
3. センターからのお知らせ
4. イノベーションジャパン2007出展報告

◆本メールマガジンは「学長室だより」の受信アドレス、ご登録頂いたアドレス、ならびにSMUバイオリソースシステムの協力を得て、機器予約センター登録アドレスに配信しております◆

1. 知的財産教育応用コース講義のお知らせ

△▼ 臨床研究と新医療開発プロセス

—TR/初期臨床研究と産学連携・共同研究—

日時：11月2日(金) 18:00～

場所：基礎医学研究棟5階会議室

講師：京都大学医学部付属病院医療開発管理部長

文科省産学官連携コーディネーター 樋口修司 特任教授

内容：世界の医薬品業界でご活躍後、現在は京都大学で知財シーズ発掘と臨床研究を推進

されている樋口先生に、企業側と大学側、両方の現場経験からそのヒントをご紹介します。

対象は大学院生ですが、教員をはじめ、学内外どなたでもご聴講いただけます。

多数のご参加をお待ちしております。

2. 本学脳神経外科の臨床研究のTV放映のお知らせ

△▼NHKスペシャル放映予定

11月5日(月)午後10時～10時49分、NHK総合チャンネルにて放映予定のNHKスペシャル「眠れる再生力
を呼び覚ませ～脳梗塞・心筋梗塞治療への挑戦～」にて本学脳神経外科の脳梗塞治療の臨床試験について、8ヶ月
に渡った密着取材の様子が紹介されます。

3. センターからのお知らせ

△▼科研費申請について

現在受付中の科研費の正本提出の締め切りは11月5日(月)17:00となっております。期限までに指摘事項を修正し、電子申請システム上で「確認完了・提出」処理を行った上で、規定の部数を提出してください。

応募書類のチェックに際し、特に多く見られた指摘事項は以下の通りです。再確認をお願い致します。

1. 職名が新しいもの対応していない(助手→助教、助教授→准教授)。研究分担者の職名のチェックもお願いします。
2. 今年から一部種目を除き、「研究目的」、「研究計画・方法」欄で冒頭に要旨を記載するよう指示されています。
3. 今年から「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄は該当しない場合その旨を記述することとされましたので、必ず何らかの記載をすることになります。
4. 文字の大きさが11ポイントに定められているところがあります。
5. 様式の改変は不可です。枠の大きさを変えないでください。
6. 応募情報に記載されている「研究課題名」、「研究経費」及び「エフォート」が応募内容ファイルでの記載事項と異なっていることがあります。

以上、よろしくご協力お願い致します。

4. イノベーションジャパン2007出展報告

△▼本学からは2ブースを出展

去る9月12日～14日の期間に渡り、東京国際フォーラムにて開催されました

「イノベーションジャパン2007—大学見本市」に、昨年から引き続き本年も出展致しました。

本年は医学部分子医学研究部門(濱田研)から「創薬・診断シーズとしての癌標的スーパー抗体Staab」の展示、本センターからは今年作成した「研究シーズ集」、センター「活動報告書」の展示、配布を行いました。期間中は分子医学研究部門の加藤准教授をはじめ、センターからも2名体制で会場に常駐し、説明・PRに努めました。会場では多数の来場者と情報交換を行いました。今年は機器メーカーの医療部門担当者が積極的に来られたという印象を持ちました。

☆編集後記

先日、文科省産学官連携コーディネーターバイオ・医学会議を医大で行いました。南は宮崎、長崎と、全国各地からコーディネーターが参加したのですが、紅葉が盛りの時期ということもあり、随分喜ばれました。札幌にある、ということも医大の資産の一つであると考えた次第です。例年科研費申請の時期はセンターもスタッフを増員し、書類のチェック

クや先生方との対応に当たっております。スムーズな提出に向けてスタッフ一同頑張っておりますので、ご協力よろしくお願い致します。(IN)

附属産学・地域連携センターメールマガジン

編集 産学官連携コーディネーター 一瀬信敏
発行 札幌医科大学附属産学・地域連携センター
URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>
メール renkei@sapmed.ac.jp
ichise@sapmed.ac.jp (一瀬)

△▼札幌医科大学 附属産学・地域連携センターメールマガジン△▼

■第9号■ 2008年1月17日発行

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メールマガジン第9号をお届けします。今号ではJSTシーズ発掘試験の応募のお知らせ等、センターからのお知らせを掲載しております。

▲目次▼

1. JST シーズ発掘試験応募開始のお知らせ
2. 「TR 支援専門員」のご紹介

◆本メールマガジンは「学長室だより」の受信アドレス、ご登録頂いたアドレス、ならびにSMUバイオリソースシステムの協力を得て、機器予約センター登録アドレスに配信しております◆

1. JST シーズ発掘試験応募開始のお知らせ

△▼ JST シーズ発掘試験の応募が開始されました

募集締め切り：3月14日（金）12:00 締め切り（電子申請）

研究期間：委託研究契約締結日から平成21年3月31日（火）まで

支援規模：A（発掘型）1,250 課題 1件200万円（上限）

B（発展型）36 課題 1件500万円（上限）

詳しい内容はJSTの電子公募システムをご参照ください

<https://puf.jst.go.jp/rqp/index.html>

申請に当たってはコーディネーターとの連名になります。一瀬のコーディネーターIDは1010001774Kです。詳しくは一瀬（内2108、ichise@sapmed.ac.jp）までお問い合わせください。

本研究費の説明会を医大で実施する予定です（日時未定）。詳しい予定が決まりましたら別途お知らせいたします。

昨年は医大から若手講師の先生の案件も採択されております。幅広い層からのご応募をお待ちしております。

2. TR 専門支援員のご紹介

△▼センター新メンバーのご紹介

札幌医科大学、北海道大学大学院医学研究科、旭川医科大学の3大学は、文部科学省「橋渡し研究支援推進プログラム」の拠点として選定されたことを受け、「北海道臨床開発機構」を設置しました。

本学は、「機構」との円滑な連携を図るとともに、本学におけるTR（Translational Research:橋渡し研究）の円滑な推進を図るため、TR支援のための専門的知識を有する専門職員を平成20年1月1日より産学・地域連携センターに配置しました。

TR 支援専門員

朝倉 純代 (あさくら すみよ)

1954年札幌生まれ。北海道大学薬学部卒業後札幌医科大学にて約25年間研究に従事。2001年新薬開発を支援する企業に入社。社内監査、ISO9001:2000取得を担当。2005年10月さらに支援の領域を広げるべくベンチャーを起業し、臨床研究の橋渡し支援業務に従事。2男1女の母、孫2人、ただいま80歳の母、猫4匹と同居中。

審査申請書類の準備・各種手続きなど臨床研究に関する様々なご相談を承ります。

内線2173、メール asakuras@sapmed.ac.jp までお気軽にご相談ください。

☆編集後記

2008年最初のメールマガジンをお届けします。本文でも紹介したように、1月からセンターは新メンバーの朝倉さんを迎え、臨床研究支援の分野における支援協力体制を強化しております。引き続き発明相談も受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。本年もよろしくお願いたします。(IN)

附属産学・地域連携センターメールマガジン

編集 産学官連携コーディネーター 一瀬信敏

発行 札幌医科大学附属産学・地域連携センター

URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メール renkei@sapmed.ac.jp

ichise@sapmed.ac.jp (一瀬)